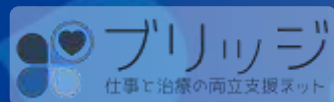


医療 × 労働 Ⅱ 職場

ブリッジ 第19回研究会



経済毒性 とは何か ～ 治療と就労に及ぼす影響を考える ～

2022年 5月15日(日) 13:00～16:00

安心&安全
優先の

Zoom開催 会場参加が可能な状況になれば
ハイブリッド開催への切り換えを検討します

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、医療従事者と企業関係者が垣根を越え情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することを目的に、毎回異なるテーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。

19回のテーマは「経済毒性とは何か」です。あまり知られていない言葉ですが、経済毒性とは「がんと診断されたことに関連する経済的な負担により、患者・家族に及ぼす悪い影響のこと」です。諸外国において生存期間やQOLに悪い影響を与えることが報告されていますが、高額療養費制度で支払い上限がある日本においても、がん治療中に経済毒性を経験している患者が少なくないことが明らかとなりました。両立支援にも非常に深く関連するこの問題に着目し、2018年の日本臨床腫瘍学会での発表以来、医療者への啓発活動を続けている 愛知県がんセンター病院の本多和典先生から学びます。

さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方策を共に見出していくコミュニティとして発展することを願っています。

今回のPoint

- わが国唯一の「経済毒性」の研究者の講演が聴ける貴重な機会
- 経済毒性が生存期間やQOLに悪影響を及ぼす!?
- 働くことは「生きる意味を支える」ことにつながる

- 対象 医療従事者、企業関係者、キャリアコンサルタント・社労士 など
仕事と治療の両立支援に携わっている方・これから携わろうとする方
- 料金 ブリッジ会員：無料 非会員：2,000円
※ 申し込みと同時の入会(5,000円/年会費)も可能です
- 会場 ウィンクあいち 1208 会議室 (Zoomのみの場合は配信会場として)
- 定員 24名
- 申込 <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01sb6ivs46y11.html>
※ 申込専用サイト「パスマーケット」からお申込みください(クレジットカード決済)
※ ブリッジHP(裏面参照)からもリンクします
- 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会
- 協力 公益財団法人 日本対がん協会(休眠預金活用事業として実施しています)



の多様性の構築

第19回テーマ 「経済毒性とは何か

～ 治療と就労に及ぼす影響を考える ～

① 経済毒性について



本多 和典 ほんだ かずのり

愛知県がんセンター 薬物療法部 医長

日本臨床腫瘍学会（がん薬物療法専門医・指導医）

日本内科学会（総合内科専門医・認定医）

【略歴】2005年山梨大学医学部医学科卒。国立がん研究センター中央病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋大学医学部附属病院などを経て現職。様々な臓器の薬物療法を経験し、現在は原発不明がんや肉腫などの希少がんの薬物療法に力を注いでいる。また、海外の論文でみかけた経済毒性に興味を持ち、日本人での実態を明らかにする研究を行っている。

【メッセージ】“経済毒性”とは“がんと診断されたことに関連する経済的な負担により、患者さんやご家族に及ぶ悪い影響のこと”です。例えば、治療費が払えず抗がん剤治療を諦めたり、治療費や交通費の負担で食費や趣味の費用を減らしたりすることです。最終的には治療効果が悪くなったり、生活の質（QOL）が落ちたりすることにつながります。日本には国民皆保険や高額療養費制度などの負担軽減策がありますが、それでも経済毒性は存在しています。単純な解決策はありませんが、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

② グループディスカッション&全体共有

〓 団体紹介

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジは、がんをはじめとする有病者の就労支援を実施する団体です。国家資格キャリアコンサルタントを中心として、病気を経験した人がどのように職場との協調関係を築きながら働くかという、個人と組織のダイナミズムに着目した支援を実施します。患者向けの個人面談、ワークショップ、就活セミナー、また企業向けの労働衛生管理者セミナー、企業内がん教育、復職時の個別調整支援などを行っています。

URL <https://bridge-nagoya.jp/>

仕事 治療 ブリッジ



〓 ブリッジ研究会について

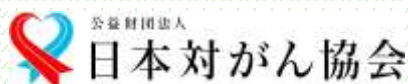
この研究会は、医療と労働の垣根を越えて、互いに知っているようで知らない現場での不安や困りごとを共有し、現実に即した方策を見出す目的で、3ヶ月に1回程度の開催を予定しています。がんやそれ以外の病気、社会的な制度や精神的なケアなど、各回1つのテーマについて深めていきます。

〓 入会のご案内

ブリッジは、社会の中で医療や労働の現実を踏まえた新しい価値や仕組みを創造することを目指しています。治療のその先に希望を持てる人生を具現化するためには、みなさまの力が必要です。会員となって活動を支えるとともに、研究会活動を通じて病気になっても安心して暮らせる社会をともにつくっていきませんか？（研究会当日の入会も可能です）

- 一般会員：仕事と治療の両立支援に取り組む個人（研究会に参加できます）【年会費5,000円】
- 賛助会員：当団体の活動を応援していただける個人・法人【年会費1口3,000円×口数】

休眠預金
活用事業



ブリッジは、日本対がん協会の協力により、休眠預金を活用した「がん患者支援の助成金事業」として医療と労働が連携した支援を実現するために活動しています。